

カサホルダー



安全走行の為 6つのお願

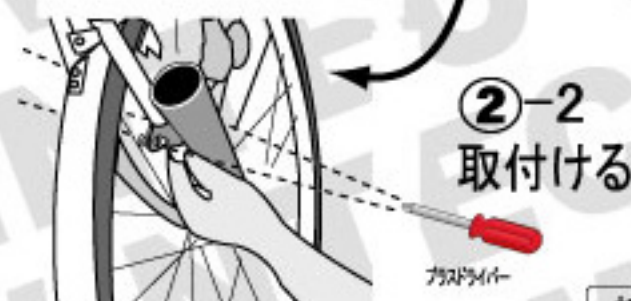
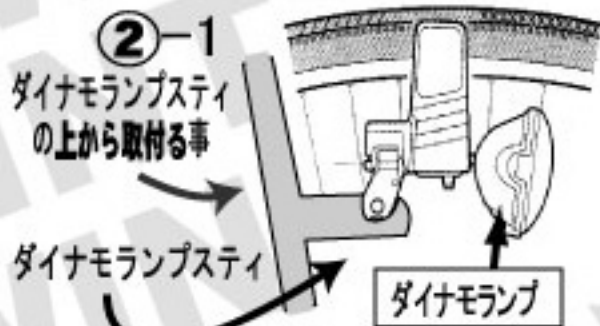
- 24-26インチ車専用です
- 段差のある所は走行を避ける
- 説明書通り取付けください
- 傘の柄が動く場合は走行中止
- ブレーキワイヤーの上に
- 道路交通法に従ってください
- 傘の柄をかけないでください

傘ホルダーの特徴

雨が上がった後の——邪魔になった傘を簡単に収納できます。
雨が降りそうな時にも——事前に傘を安全にも持ち運べます。
ひたくり防止にも——上部のリングにバックなどのヒモを通せば防犯効果もあります。

取付方法

- ① 上部用傘掛けリングビスナットセットを利用します。ビスナット部分のビスナットを外しリングを広げてハンドル部分に付属のビスで取付けてください。
※強く締めすぎると割れる場合があります。



- ②-1 落下防止の為、フォークのダイナモンプスティの上の位置に傘受け本体を取付けてください。
※ダイナモンプスティが無い場合は取付出来ません。
- ②-2 裏側から傘受け用止め具をあわせませす。付属のAビスセットで仮止めします。
※ビスがタイヤスポークに当たらない事を確認ください。確認 再度、傘受け本体が、万一ビスが緩んでも本体がすべり落ちない所に固定されているか確認後、ビスを締め付けて固定してください。
※乗車時には再確認ください。

危険防止の為の適合車種

24/26インチ 軽快車・シティ車用
(27/28インチ車・幼児・子供・スポーツ車には取付しないでください)
取付可能な傘の種類
U字型の柄であり、寸法が普通のサイズ(80~100mmある傘)

※こんな状態は危険※絶対守ってください

- ハンドルに引っ掛けられない傘、折り畳み傘、柄がUで無い真っ直ぐな傘、普通より細い又は太い傘、子供傘などは取付け出来ません。
- ブレーキワイヤーの上に傘の柄を絶対に掛けないでください。ホルダーに深く差し込んでもワイヤーが傘を持ち上げる為危険です。
- 傘の柄がハンドルより高くない様に段差がある場合は柄が飛び跳ね、徐々に上がる事も有りますので、走行を中止するか段差の無い道を選び、走行下さい。
- 走行時、歩道は〔自転車歩道通行可〕走行しないで道路交通法に基づき走行してください。

危険防止のための取付方法

- 前輪ホークのランプブラケット(ライト固定取付け位置)の上部に本体を挟み込み付属のネジをドライバーで締め付けてください。
- ホークが普通より太い場合は取付を止めてください。
- ネジを強く締めすぎると変形したり、割れる事もあります。その様な状態になった時は使用をしないで下さい。

危険防止のための使用方法

- ① 傘をホルダーに入れる
- ② 傘の柄(U型)をハンドルに引っ掛ける(ワイヤーの上には掛けない)ハンドルから柄が動かないように(例)マジックバンド等で柄とハンドルを固定するなど)工夫次第で安全に走行できます。
- ③ 傘の先端が自転車のドロヨケスティより外側に有る事、同時に傘の先端が泥除けスティから下方に15cm以上伸びている事を確認してから乗車下さい。尚、毎回の乗車時には①②③を点検後乗車ください。

部品構成



代表素材: 本体・ポリプロピレン

もう一度ご確認ください

注意 本体をランプスティの上に取り付きましたか?

- 火気のそばや高温になる場所に設置しないでください。変形したりする恐れがあります。
- 傘が変形している場合は、使用はしないでください。
- 紫外線などで、2年程度で劣化します。その時期には新たなものと取替えてください。
- 上部傘掛けリングには、荷物をぶら下げるのはやめてください。荷物はカゴなどに収めて重量がリングにかからないようにしてください。バックなどのひたくり防止の役目をしますが、絶対のものではありません。